

1人1台端末の活用による実践事例

(特別支援学校)

学校名	岡山県立岡山支援学校	実践者名	中谷 幸希
実践場面 (教科、領域、行事等)	社会		
単元・題材名	新聞を作ろう		
学習目標・ねらい	・アプリを使用して、文字入力や画像編集をすることができる。 ・新聞記事のような文章やレイアウトにして相手に伝えることができる。		
対象の児童 生徒の実態	高等部 1 ～ 3 年（肢体不自由＋知的障害） 7 人		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
使用アプリ「かんたん号外くん」 …号外形式の新聞が簡単に作れるウェブアプリ。 教育機関の教職員の方々に無料提供している。 画像やPDFでダウンロードして、配布や印刷、クラスでの共有ができる。 オリジナル新聞名を付けることができる。			
使用アプリ「Good Notes」 …文字を書くことが難しい生徒も 教員がワークシートを作成して、 生徒が文字入力する。 記事にする内容に合った写真を選び、 貼り付けることができる。		 	
生徒が「Good Notes」にタイトルや記事を書いたり、写真を選んだりしたものを教員が「かんたん号外くん」に載せることで新聞のような形式にして、印刷し掲示する。			
活用のポイント・改善策等 ・アプリやタブレット端末を使用することで、基本的な操作のスキルを身につける。 ・新聞の形式にすることで生徒が作成する意欲が高まる。 ・5W1Hや読みやすい文章を書いたり、一番ふさわしい写真を選んだり、わかりやすくまとめることを意識できる。			

